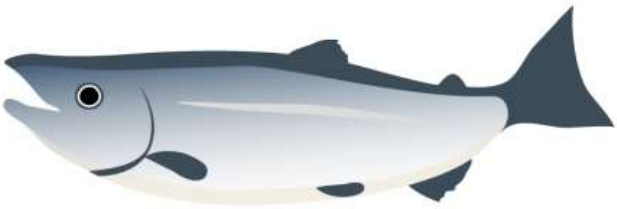
１２月２０日（金）年取り



新年を迎えることを「年越し」と言います。また「年取り」とも言います。新年を迎えるたびに年を重ねるからだそうです。

魚の名前にも、この言い方が残っています。東日本では**鮭**を、西日本ではブリを大晦日に食べる習慣があるそうです。「年越し魚」「年取り魚」「正月魚」などと呼んでいるようです。

鮭は「栄える」という言葉に通じるので縁起がいいのです。

ブリは出世魚といって、成長するごとに名前が変わります。「モジャコ」「ワカシ」から始まって「イナダ」「ハマチ」・・・「メジロ」「ブリ」と、大きくなるごとに名前が変わっていきます。出世していくので縁起がよいと食べたようです。

鮭もブリも、いつ食べてもおいしい魚です。海に囲まれた日本のごちそうです。昔の人は、おいしくて縁起のいい食べ物をとても大事にしていたことが分かります。

村越　新